



動労連帯高崎

国鉄高崎動力車連帯労働組合

〒360-8799 埼玉県熊谷郵便局私書箱56号
srkcjp@yahoo.co.jp 048-722-7107 (FAX共)

2015年9月11日 No. 133

いよいよ明日9月12日!

断固ストライキやるぞ!



もう我慢の限界だ! 怒りの声をあげよう!

闘わなければ何も変わらない。動労連帯に入って共に闘おう!

動労連帯高崎が9月12日(土)、始業時から終業時までストライキを決行するとの決定は、大きな反響を呼んでいる。職場の仲間からは「ストライキをやるんですか!」「頑張ってください!」「実力行使でもしなければ会社は言うことを聞かないから」「俺の賃金は12万だよ。これでどうやって暮せと言うんだ!」などなど、全てがストライキを頑張ってくれと言う声ばかりだ。

他方、JR・TTSは「動労千葉派か」「まいったなー」と悲鳴をあげている。会社と一体のTTS労働組合も動揺を隠せない。

改めて動労連帯高崎は要求する。

われわれの要求

- 1) 構内検修部門の外注化にともなう出向を、約束どおり3年目で解除し、仕事も人もJRに戻せ!
 - 2) 車両や駅舎清掃、構内、メディアサービスの業務の人員を早急に増員せよ!
 - 3) TTSのパート・契約社員・正社員の賃金を大幅にアップせよ!
 - 4) 安倍政権は、安保関連法案(戦争法案)を直ちに廃案にすること。
- 人も仕事もJRに戻せ! 人員を増やせ! 賃金をあげろ! 戦争法案廃案!

運転士・車掌のみなさん! グリーンアテンダントのみなさん。駅業務の皆さん。構内検修のみなさん。車両清掃、駅舎清掃のみなさん。パート、契約社員、正社員、JR所属、外注会社所属をとわず、鉄道輸送を支えている労働者のみなさん。日々の労働お疲れ様です。動労連帯高崎は心より訴えます。

動労連帯高崎に加入し、闘って、私たち現場労働者の切実な声を反映させよう! 闘うことで働きやすい、自分と家族の一生の生活を守る労働条件

9・12ストライキ・スケジュール

9月12日(土) 一日行動!

■JR弾劾行動

8:00~8:30 籠原運輸区前(JR籠原駅北口)

■動労連帯スト突入集会(第一弾)

8:50~10:00 JR車両センター籠原派出所前

■熊谷駅街宣

15:00~16:00 JR熊谷駅北口

■動労連帯スト突入集会(第二弾)

16:00~17:00 JR熊谷駅北口

■動労連帯スト突入集会(第三弾)

17:50~18:30 TTS籠原事業所前

闘う労働組合に結集して外注化粉碎! 全員の正規職化を勝ちとろう!

を確立しよう！

共にストライキにたちあがろう！

安全崩壊は、外注化＝コスト削減の結果だ！

私たち労働者の扱いはあまりにもひどすぎる。私たち労働者の誇りを傷つけ、低く見た待遇としか思えないものだ。これが乗客の安全をまもり、鉄道輸送を支えている労働者に対する扱い方なのか？

鉄道業務の技術継承が破壊され、国鉄採用職員が外注化に伴って次々と職場を追われた中で、安全崩壊が限度を超えていることは、JR東日本の富田社長自らが認めている。(9月3日付け『日経新聞』参照)

だが、富田が認めないことは、技術継承の破壊、国鉄採用職員の減少が、外注化＝非正規職化＝低賃金化という経営施策(金儲け優先)の結果だと言うことだ。

外注化反対、非正規職化反対、生きていける賃金をよこせ！ 戦争反対！ 動労連帯はストライキに起つ！

私たちは、鉄道輸送の安全を守るためにも、怒りを怒りとして声にし、行動に起つことで、この現状を変えようと決意した。ともに闘いましょう。

● 9月11日(金) 11時
東京地裁第527号法廷

外注化粉碎！
強制出向無効確認訴訟



解雇撤回・外注化反対・非正規職撤廃！
戦争法案廃案！ 安倍打倒！

9・18怒りの熊谷集会

9月18日(金) 午後6時30分から
ところ 熊谷市荒川公民館(宮前町1-24-1) 熊谷駅から徒歩5分



報告 国鉄千葉動力車労働組合
連絡先 動労千葉を支援する会
・熊谷 (090-5572-9108)

JR東トラブル頻発

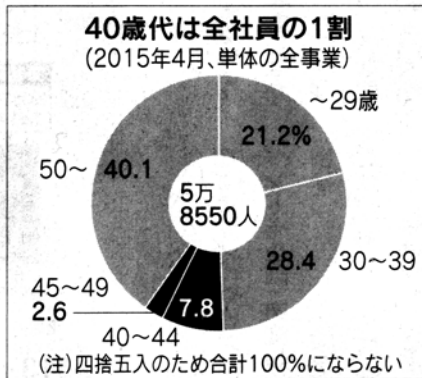
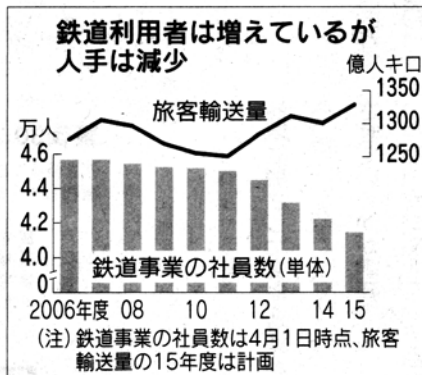
日経9月3日

富田社長は会見で陳謝した(2日、東京都渋谷区)



東日本旅客鉄道(JR東日本)が安全問題に揺れている。沿線の相次ぐ不審火が目撃されるが、自らが原因の大規模な運行トラブルも頻発している。一般企業では中核を担う40歳代が全社員の1割しかおらず、運転や保守など現場の技術継承が滞りがち。人員が減るなか訪日客の増加などで業務の負荷も増している。「安全・定時」という信頼を守るか正念場だ。

社長陳謝 人材不足、ITで補う



「基本的なミス」 不審火や警報を無視した線路内進入も悩みの種だが、グループ安全計画(2014~18年度)に「考えられない基本的なミス」(私鉄首脳)だ。富田社長は「若手の運転士や保守点検の担当者など、現場での技術継承の面で課題がある」と吐露する。企業多くはパブル期の大量採用で40歳代後半を中心としたミドル層が厚い。一方、同社は1987年の民営化前後の採用抑制や人員整理のため、若手とベテランをつなぐ役目の40歳代の割合が1割にとどまる。特に45~49歳が少ない。足元では北陸新幹線の開業や首都圏の訪日外国人増加を受け、15年度の旅客輸送量は6%増える見通しだ。一方、鉄道事業(単体)の従業員数は

「ミドル欠落」技術継承に影

富田哲郎社長は2日、都内の本社で開いた定例記者会見で「一連の輸送障害で非常に多くのお客様や関係者にご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます」と陳謝した。8月には京浜東北線で運転ミスにより架線を切断し、長時間運行がストップした。4月の山手線の支柱倒壊事故以降、失態が続いている。不審火対策では送電用ケーブルを防火シートで

覆つなどの対策を進めると発表した。これまで山手線の75カ所に対応を終え、来週をめどに東京駅から30キロ圏内の63カ所でも実施する。変電所などを巡回する頻度を増やし、重要施設では防犯カメラを増設する。

大規模な事故が続いている

年月日	事故内容
2015年 4月12日	山手線の神田-秋葉原間で支柱が倒壊
29日	東北新幹線の郡山駅構内で架線切断
8月4日	京浜東北線の横浜-桜木町間で架線切断
9日	東北新幹線の郡山-福島間でレール下の鋼板が外れる
18日	中央線の立川-国立間で電気ケーブル火災

ビジネス TODAY